

部長（ナレ） 声優業界の未来を憂う

部員C ♪第四話ですね

部長 そのとおりだ

顧問 うんうん

部長A C、お前……。

部長C なんですか？

部員A この短時間でよくそこまで成長したな

部員C はい？

部員A 素質あるよ、お前

部長（嬉しそうに）よくわからないけど褒められた

部員C ところで先生、今日はこういった用件で？

顧問 あー、暇だった

部員A 暇。それだけ？

部員B ♪あい、かわらず、ですなー

部員A なんつーすちやらかな……

部員C ですよねー

部長 さしずめ、この顧問にしてこの部長あり、ってところか

部員A こら、聴こえてるぞ。それに俺はすちやらかじゃない

部員A ……それもそうか。なんであんなこと言ったんだ俺

部長 なんこたどーでもいい。さつきから俺が話していることについて、何か意見はないか？

部員A じゃあ、はい（挙手）

部長 はい、A

部長のお話は理解できるんですが、声の表現を生業としている人間がアテレコせずに、他のジャンルからの人間がアテレコすることにより、部長ご自身に何か影響があるんですか？

部員A うむ、なかなかいい着眼点だ。口調にちよつとトゲのようなものを感じるが傷かないフリをして

おいてやろう

部員C はー……

部長 ん、なんだC？

部員C いえ、別に……

部長 そうか？

（できない。さつきから突っ込みどころ満載なのに、突っ込めない。新人の僕には、無理だ）

部員A しかしなAよ。タイトルを思い出すんだ。

部長 声優業界の未来を憂う、ですか？

確かに、俺には実害はないのかもしれない。けどどな、『適材適所』という言葉がある。テレビが白黒でしか見れなかったような昔なら兎も角、声優という仕事が確立している今なら、その道のプロにまかせるといいという見方が出来る。ただ、さつきも言ったが、声優が本職じゃなくても、出来る人にならそれを任せてみるのもいい。そこに意外な適正が見えることもあるからな。

『餅は餅屋』って言葉もそうだ。結局、付け焼刃でやっても所詮は素人という域を出ないこともままあり、それが大批判につながり、挙句「ゴリ押しだ」なんて事を言われる破目になる

部員B ♪そだな

事務所やらなんやらスーツの人たちの思惑の犠牲になって叩かれてしまったら、その人物が気の毒だろ

部員B ♪そだな

ああ、多少話がずれている気もするが気にするなよ。いいこと言ってるんだから

部長（あ、突っ込もうとしたら先手を打たれた。けど、今の一言余計だよね。あれが無かったらもっと良かったのに。オシイ）

部員C ♪オシイ、オシイ、オシイ、オシイ

部員B あ？ どうしたB？

部長 最後の一言が余計だった。あれがなければ「さすが部長！」ってなったのにな

部長 一理ある、がB、そういうこと言っていないのか、みんなにばらすぞ？
部員B ♪もちろんかまわないさっ！ 隠しているわけじゃないよ
部長 くそ、みんなして俺の思惑を……
部員A 何の話ですか？
部長 うん、A、さっきお前はこう言ったよな？

回想

部員A 部長のお話は理解できるんですが、声の表現を生業としている人間がアテレコせずに、他のジャンルからの人間がアテレコすることにより、部長ご自身に何か影響があるんですか？

回想終わり

部員A 言いましたか？

部長 その「影響」ってヤツな、俺にはないが、こいつにはあるんだよ。

部員B ああ、そうさ。僕が将来いるであろう業界さ。

部員C え、B先輩、もしかして声優志望だったんですか？

部員A 意外だ

部長 そうだろうとも

部員A けど、大丈夫なんですか？

部員B 何がだ？

部員A B先輩みたいな、変な、いや、個性が強い方には……、いや、逆か

部長 そういうことだ。声優以外をアテレコに使う意味の一つに、個性が欲しいという理由もあるらしい。俳優で言う「個性派俳優」ってやつだな。既存の声優でも個性の強い人もいるにはいるが、数としてはそこまで多くはない。だから個性を重視したキャスティングをしようとする、同じ声優しか出なくなると。あとは説明するまでもないよな？

部員A なるほど、ご尤もですね。部長もなかなかやるじゃないですか。

部長 だろ？ って褒めてる振りして馬鹿にしてるだろ、番場敏（バンバビン）のくせに！

部員A グ……本名はやめろお！

チャイムが鳴る

顧問 さ、下校時間だな。諸君、帰ろうか

部長 はい。じゃあ、今日はここまでだ。帰ろう

部員C 今日は結論が出ませんでしたね。

部員A ー、でもまあ、今日で廃部になるわけじゃないんだから、次回もこの話を続けていいんじゃないか？

部員B ♪そうだな

部長 あ、一つ言い忘れてた。このドラマ、今回が最終回だから

部員A、B、C 了解……えー！？

部長（ナレ） 声優業界の未来を憂う・最終回。脚本・演出、結城偈斗。出演、青森裕
部員A 篠原悠、以上でお送りしました。

予告

部長

というところで、4回に渡りお送りしてきましたこのドラマ。次回から装いも新たに新シリーズ突入で……すう？ なんじゃコリヤ！ 冗談だろ、やっと終われると思っていたのに。次回、声優業界の未来を憂う2、だとお？ 本気か？ 嘘だといつてよバーニイ！